

海 掲 載 作 品 (第一期：第67号まで)

創刊号	昭和62年9月1日発行				
評論	内田百閒論	黄村 葉	随筆	敦盛の面	徳永恭子
詩	那の津、時鳥	荒木 力		檀一雄文学碑	織坂幸治
	不知不識譚	月岡祥郎	小説	鏡の中	宝生房子
	天景1	織坂幸治		夏の風に吹かれて	田代 茂
随筆	杜甫の詩	兼川 晋			
第2号	昭和62年12月1日発行				
評論	自己解放からの出発	宝生房子	詩	天景2	織坂幸治
随筆	竣朗昇天	黄村 葉		根の国漂譚	月岡祥郎
	あたりまへの日本人	六百田幸夫		駅のある風景	山口 要
	沖縄戦記録映画と		荒木力特集		
	1フィート運動	山城高常	詩	僧 他6編	
シノブシス			小説	青貧	
	波濤をこえて	兼川 晋	随筆	神を惟う	
第3号	昭和63年3月1日発行				
評論	百閒尋尋1	黄村 葉	小説短編特集		
詩	虚芒譚	月岡祥郎		草原記(昭和今昔拾遺1)	兼川 晋
	天景3	織坂幸治		地藏	荒木 力
	老夫婦考	柿添 元		傷	田代 茂
	こうゆう風に	荒木 力		夢幻	宝生房子
小説短編特集				車で去っていった女	石田 滋
	クリスマス・イヴ、午	織坂幸治			
第4号	昭和63年6月1日発行				
評論	百閒尋尋2	黄村 葉	小説	黄昏記(昭和今昔拾遺2)	兼川 晋
詩	天景4	織坂幸治		天の影	宝生房子
	虚実幻花譚	月岡祥郎		根城喪失	柿添 元
	鸚鵡	荒木 力		アンダーウォーターパニック	
随筆	どんでんがえし三国志	酒井政美			石田 滋
第5号	昭和63年9月1日発行				
評論	百閒尋尋3	黄村 葉	小説	住所氏名	織坂幸治
詩	彦一嘶1、2	荒木 力		鳥の影	宝生房子
	雪男、空、食う	柿添 元		それだから駄目なんだ	石田 滋
	天景5	織坂幸治			
	幻盡浸潤譚	月岡祥郎			
第6号	昭和63年12月1日発行				
評論	百閒尋尋4	黄村 葉	随筆	青春曼茶羅1	足達 襄
詩	天景6	織坂幸治		九州派私記	山内重太郎
	現身、天使	荒木 力	宝生房子小説短編特集		
	野良犬	柿添 元		翳、エアポケット	
	特急鳩行往生譚	月岡祥郎		柿の木のあ家	

第7号 平成元年3月1日発行					
評論	百閒尋尋5	黄村 葉	随筆	青春曼荼羅2	足達 襄
詩	田舎駅	荒木 力		故きを温ねて	
	墓石	柿添 元		新しきを知る	月岡祥郎
	言問不言巷呖譚	月岡祥郎	小説	美貌記(昭和今昔拾遺3)	兼川 晋
	ひとつの死	織坂幸治		虹	徳永恭子
				夢買い人	宝生房子
第8号 平成元年6月1日発行					
評論	言語風景論1	織坂幸治	随筆	青春曼荼羅3	足達 襄
	百閒尋尋6	黄村 葉	小説	睡蓮	宝生房子
詩	眠れない夜のために	荒木 力		別庭	荒木 力
	ここはどこの細道じゃ	織坂幸治			
	柿添元特集「年輪抄」				
第9号 平成元年9月1日発行					
評論	言語風景論2	織坂幸治	随筆	良寛の詩	兼川 晋
	百閒尋尋7	黄村 葉		つむじまがり	徳永恭子
詩	夜の誦、ほか	荒木 力		青春曼荼羅4	足達 襄
	駅程錯綜迷妄譚	月岡祥郎	小説	丘陵地帯	卜部 啓
	心不全	柿添 元		街の中で	宝生房子
	音	織坂幸治			
第10号 平成元年12月1日発行					
評論	言語風景論3	織坂幸治	詩	事故、アンケート集約	柿添 元
	百閒尋尋8	黄村 葉		火	織坂幸治
詩	そんちょう、		随筆	青春曼荼羅5	足達 襄
	くぐもった筥	荒木 力	小説	顔	森 優一
	t型コスモス症候群譚	月岡祥郎		天上大風	宝生房子
第11号 平成2年3月1日発行					
評論	言語風景論4	織坂幸治		淋しい人間	
	百閒尋尋後記	黄村 葉		ハゲあるいはヤセ我慢	柿添 元
詩	斑猫	荒木 力	小説	うまごやしの実	山口 要
	琴尾峠雪逢譚	月岡祥郎		天へ	森 優一
	満開	織坂幸治		針葉樹	卜部 啓
	冷凍ぎょうざ	松野弘子			
第12号 平成2年6月1日発行					
評論	言語風景論5	織坂幸治	随筆	遺文	黄村 葉
詩	父と妹	荒木 力		青春曼荼羅	足達 襄
	眼	柿添 元	小説	棟花散る1	六百田幸夫
	目	織坂幸治		夕陽を見る少年	森 優一
				遠い海の音	山口 要

第13号 平成2年9月1日発行					
評論	言語風景論 6	織坂幸治	小説	棟花散る 2	六百田幸夫
詩	望郷剥離譚	月岡祥郎		繭	卜部 啓
	ダダとレーニン他	荒木 力		繭の中	宝生房子
	顔	山口 要		牛飼鳥	山口 要
	矢	織坂幸治			
第14号 平成2年12月1日発行					
評論	言語風景論 7	織坂幸治	小説	釜山鎮の秋	鈴木召平
	大きな森の家	長野秀樹		棟花散る 3	六百田幸夫
詩	秋々褶曲暦日譚	月岡祥郎		幻猫記 1	黄村 葉
	七つの谷の水について	荒木 力		山牛蒡	山口 要
	夜明け、私の哲学	織坂幸治		トンネル	宝生房子
	神仏について	柿添 元			
第15号 平成3年4月1日発行					
評論	言語風景論 8	織坂幸治	小説	幻猫記 2	黄村 葉
詩	藤の蔓	荒木 力		遍路みち	山口 要
	覚睡一刻海望譚	月岡祥郎		サンタリアの海	徳永恭子
	四つのざれうた	柿添 元		海鼠について	荒木 力
	満開	織坂幸治		余白の肖像	卜部 啓
小説	棟花散る 4	六百田幸夫	講演記録	哀号	鈴木召平
第16号 平成3年7月1日発行					
評論	言語風景論 9	織坂幸治	小説	幻猫記 3	黄村 葉
	檀一雄の〈戦後〉	長野秀樹		棟花散る 5	六百田幸夫
詩	遠い昔 他 3編	荒木 力		杜若の咲く家	山口 要
	漏刻幻影譚	月岡祥郎		斜断界	森 優一
	短詩 3編	柿添 元		庭	宝生房子
	哄笑	織坂幸治			
第17号 平成3年11月1日発行					
評論	言語風景論 10	織坂幸治	小説	棟花散る 6	六百田幸夫
詩	山人はいま	荒木 力		棺の中	山口 要
	天地混沌秋櫻探譚	月岡祥郎		草上のパーティ	宝生房子
	三回忌	松野弘子		小夜想曲	卜部 啓
小説	幻猫記 4	黄村 葉			
第18号 平成4年3月1日発行					
評論	言語風景論 11	織坂幸治	小説	棟花散る 7	六百田幸夫
	檀一雄の〈戦後〉	長野秀樹		老残記	山口 要
詩	たからもの 他 4編	柿添 元		部屋の中	宝生房子
	暗渠流水愁譚	月岡祥郎		遠い声	有森信二
	ある日ふと 他 1編	荒木 力		スクラップカーニバル	卜部 啓
小説	幻猫記 5	黄村 葉			

第19号 平成4年6月1日発行					
評論	言語風景論 1 2	織坂幸治	詩	深慮遠謀神話譚	月岡祥郎
随筆	詩への逍遙遊 1	荒木 力		島	織坂幸治
詩	藤原	荒木 力	小説	棟花散る 8	六百田幸夫
	散文 2つ	柿添 元		路地	山口 要
	季節の色 他 2編	上野真子		紙飛行機	有森信二
第20号 平成4年9月1日発行					
随筆	詩への逍遙遊 2	荒木 力	小説	棟花散る 9	六百田幸夫
詩	蟬	織坂幸治		遙かなる山々	山口 要
	夏の輝き 他 1編	上野真子		ホワイト・ホール	有森信二
				海潮音	卜部 啓
第21号 平成4年12月1日発行					
評論	言語風景論 1 3	織坂幸治	詩	半身不随者が歌う	
随筆	詩への逍遙遊 3	荒木 力		酸素 他 1編	柿添 元
詩	泉	荒木 力	小説	棟花散る 10	六百田幸夫
	季節の終りに	上野真子		フューチャーソング	有森信二
	或る日	織坂幸治			
第22号 平成5年3月1日発行					
評論	言語風景論 1 4	織坂幸治	小説	棟花散る 11	六百田幸夫
詩	作詩心得 他 1編	柿添 元		坂の上の方舟	山口 要
	春の戯れ	荒木 力		白い秋	有森信二
	「終り」は「始まり」	上野真子			
第23号 平成5年6月1日発行					
評論	言語風景論 1 5	織坂幸治	小説	棟花散る 12	六百田幸夫
詩	青虫	松野弘子		真名といく岬	西田洪三
	さくら	上野真子		弁財天の杜	山口 要
	深海魚 他 1編	柿添 元		雲雀の皿	卜部 啓
	櫻耽譚	月岡祥郎			
第24号 平成5年9月1日発行					
評論	言語風景論 1 6	織坂幸治	詩	(続) 櫻耽譚	月岡祥郎
詩	ポエティカルプロフィール			てんびん	徳永利笑子
	他 3編	荒木 力	小説	棟花散る 13	六百田幸夫
	夏 他 1編	上野真子		無人法廷	西田洪三
	牛	柿添 元		流れ灌頂の日	山口 要
				晩夏光	有森信二
第25号 平成5年12月1日発行					
評論	言語風景論 1 7	織坂幸治	森岡優文小説特集		
詩	散歩のあとで	柿添 元		青春断章・春の章	
小説	棟花散る 14	六百田幸夫		幻影隧道	
				長い長い君への手紙	

第26号 平成6年3月1日発行					
評論	言語風景論 1 8 保田與重郎と段一雄	織坂幸治 六百田幸夫	小説	棟花散る 1 5 神々の里	六百田幸夫 田代 茂
詩	播種 未知の地図 謙信好き	徳永利笑子 上野真子 柿添 元		叩かれる理由 幸福の詩	山口 要 有森信二
第27号 平成6年6月1日発行					
評論	言語風景論 1 9	織坂幸治	詩	こころ洗い	徳永利笑子
随筆	奇妙な犬 あるときは有のすさびに	山口 要 六百田幸夫	小説	棟花散る 1 6 水害屋独歩記	六百田幸夫 西田洪三
詩	ロベリア 馬鹿利口 天が…穂の章	上野真子 柿添 元 月岡祥郎		夢幻 BOOK REVIEW	有森信二 黄村 葉
第28号 平成6年9月1日発行					
評論	言語風景論 2 0 邪宗門の回廊 1	織坂幸治 西田洪三	詩	ラベンダー畑 もう一つの目	上野真子 徳永利笑子
随筆	追懐・北川晃二さん 茅の輪まつりの日 ボーイフレンズ	六百田幸夫 山口 要 杉山武子	小説	風の街 洋上のアルバトラス BOOK REVIEW	有森信二 卜部 啓 織坂幸治
詩	ある男の死	柿添 元			
第29号 平成6年12月1日発行					
評論	言語風景論 2 1 邪宗門の回廊 2	織坂幸治 西田洪三		場所 奇妙な関係	徳永利笑子 杉山武子
詩	現代病 他 その時	柿添 元 上野真子		ある序奏 希望の坂道	森岡優文 椎葉秀立
小説短編特輯	海峡	有森信二		冬の椿	山口 要
第30号 平成7年3月1日発行					
特別寄稿	菅江真澄の謎	真鍋呉夫	小説	レフト・アローン つがい	有森信二 田栗勝弘
評論	言語風景論 2 2 邪宗門の回廊 3	織坂幸治 西田洪三	掌編随筆特集		
詩	ピラフは焼き飯ではない 冬水仙 他 2編 冬色 イリュージョン 他 1編	柿添 元 上野真子 月岡祥郎 久我歴人		上野真子、卜部啓、織坂幸治 黄村葉、森岡優文、森茂男 杉山武子、月岡祥郎、松野弘子 田栗勝弘、徳永恭子、山口要 椎葉秀立、別庭克子	
第31号 平成7年6月1日発行					
評論	邪宗門の回廊 4	西田洪三	小説	スフィンクスの眠り	有森信二
詩	植物園で、飴玉 爺様	上野真子 柿添 元		カオス 銀色の守宮	杉山武子 山口 要
			エッセイ	G先生への近況報告 1	森岡優文

第32号 平成7年9月1日発行					
評論	邪宗門の回廊 5	西田洪三	随筆	真昼の出来事	杉山武子
詩	植物園で、3・4 つらい父たち	上野真子 柿添 元	小説	百日紅 聖家族	有森信二 ト部 啓
			エッセイ	G先生への近況報告 2	森岡優文
第33号 平成7年12月1日発行					
評論	邪宗門の回廊 6	西田洪三	小説	あだし野へ	有森信二
詩	ひばり連想	柿添 元	エッセイ	最果てのジャズ	椎葉秀立
	上野真子・詩特輯・在りありて			言語風景論に寄せる	六百田幸夫
小説	橋	森岡優文		なくてぞ人の恋しかりける	六百田幸夫
第34号 平成8年3月1日発行					
評論	夢とうつせみ 1	杉山武子	小説	鏡の中	森岡優文
詩	或る男 怨訴 カメラ教室で、フラッシュ	荒木 力 志摩保美 上野真子	エッセイ	光る海 海ゆかばの歌 鎮魂譜と青春の座標	有森信二 六百田幸夫 六百田幸夫
随筆	風の音	山口 要			
第35号 平成8年6月1日発行					
評論	夢とうつせみ 2	杉山武子	小説	ブライアン・ホーンの休日	有森信二
	宝暦の青春	黄村 葉		捉らわれの歩み	田栗勝弘
詩	窓際族 N夫人の選択	荒木 力 上野真子	エッセイ	青桐と孤狼 G先生への近況報告 3	西田洪三 森岡優文
第36号 平成8年9月1日発行					
評論	夢とうつせみ 3	杉山武子	小説	白い湖	六月ゆめ
	安藤輝三陸軍大尉の光と影	大智忠之		辰次の海	山口 要
詩	雲のシルバージュ 夢殿	西田洪三 荒木 力	エッセイ	宝暦の青春・補稿 G先生への近況報告 4	黄村 要 森岡優文
第37号 平成8年12月1日発行					
評論	夢とうつせみ 4	杉山武子	エッセイ	六百田橋	六百田幸夫
詩	傘の序曲 サフラン	久我篤忠 柿添 元		G先生への近況報告 5	森岡優文
小説	火の音	有森信二		恋文特輯	
第38号 平成9年3月1日発行					
評論	夢とうつせみ 5	杉山武子	小説	転生	杉山武子
詩	一周忌 天の水 他1編 青銅の柱 他1編	上野真子 荒木 力 久我篤忠	エッセイ	白い道 松陰と志ん生 六百田橋 2	有森信二 椎葉秀立 六百田幸夫
随筆	孤島記	山口 要		G先生への近況報告 6	森岡優文

第39号 平成9年6月1日発行					
評論	夢とうつせみ6	杉山武子	小説	胡桃	卜部 啓
詩	莊子遠近	荒木 力	エッセイ	G先生への近況報告7	森岡優文
	いやになります	柿添 元		六百田橋3	六百田幸夫
	初夏	久我篤忠		五分間の孤独	椎葉秀立
小説	灘	有森信二			
第40号 平成9年9月1日発行					
評論	夢とうつせみ7	杉山武子	小説	風光	有森信二
	古賀メロディは鎮魂の賦	大智忠之		磯鴉の啼いた日	山口 要
詩	始光	月岡祥郎	十周年記念エッセイ特集		
	花のありか	上野真子		柿添元、卜部啓、田代茂、月岡祥郎	
	四月の筑後川	荒木 力		徳永恭子、上野真子、織坂幸治	
	水晶文書	久我篤忠		椎葉秀立、森岡優文	
	ある撞着	柿添 元	エッセイ	六百田橋4	六百田幸夫
第41号 平成9年12月1日発行					
評論	夢とうつせみ8	杉山武子	小説	冬の座標・上	有森信二
詩	文明中毒談義	柿添 元	エッセイ	山陽道1	六百田幸夫
	冬色	月岡祥郎		十年の思い出	椎葉秀立
	莊子遠近その2	荒木 力			
第42号 平成10年3月1日発行					
評論	夢とうつせみ9	杉山武子	小説	真理子	卜部 啓
詩	歴史について、宇宙時代	柿添 元		音頭流れて	山口 要
	蒙色	月岡祥郎	エッセイ	山陽道2	六百田幸夫
第43号 平成10年6月1日発行					
評論	夢とうつせみ10	杉山武子	詩	観色	月岡祥郎
詩	バスターミナル	荒木 力	小説	霧の河	田代 茂
	山椒の木	上野真子		南京ハゼの家	大智忠之
	冗談じゃない 他2編	柿添 元	エッセイ	山陽道3	六百田幸夫
第44号 平成10年9月1日発行					
評論	「三島由紀夫・剣と寒紅」		詩	いい夢	上野真子
	における三島像	森岡優文	小説	冬の座標・下	有森信二
	夢とうつせみの連載を終えて	杉山武子	エッセイ	山陽道4	六百田幸夫
詩	山麓・山の朝	荒木 力		「床の中から」を褒められて	柿添 元
第45号 平成10年12月1日発行					
評論	良寛游擬1	織坂幸治	小説	葬儀屋の娘	卜部 啓
詩	命について 他2編	柿添 元		声	徳永恭子
	ごめいとう	荒木 力	エッセイ	山陽道5	六百田幸夫
随筆	あじさいの花	山口 要			

第46号 平成11年3月1日発行					
評論	良寛游擬2 野性のブルーを見つめ てごらん	織坂幸治 武田芳明	詩 小説	図書館の本 困る コンスタンツォ神父	上野真子 柿添 元 榊田 洋
詩	「掌編」・湯布院	荒木 力	エッセイ	古代の相聞往来1	六百田幸夫
第47号 平成11年6月1日発行					
評論	良寛游擬3 野性のブルー2	織坂幸治 武田芳明	特集1 小説	青春曼荼羅・抄 五十余年目の手紙	足達 襄 山口 要
詩	葉色 二週間前 ジョウカー 晩年 初蝶 素朴な対話	月岡祥郎 上野真子 荒木 力 遊 石 庭 柿添 元	特集2 エッセイ	風の中 追悼・足達襄 黄村葉、柿添元、荒木力 山口要、織坂幸治、卜部啓 古代の相聞往来2	有森信二 六百田幸夫
第48号 平成11年9月1日発行					
評論	良寛游擬4 野性のブルー3	織坂幸治 武田芳明	詩	酒飲みの教訓 孤独について	柿添 元 柿添 元
詩	ジョウカー 晩年2 空の下のほう	荒木 力 上野真子	小説 エッセイ	空打つ波 面打師 古代の相聞往来3	有森信二 榊田 洋 六百田幸夫
第49号 平成11年12月1日発行					
評論	良寛游擬5 野性のブルー4	織坂幸治 武田芳明	随筆 小説	伊万里の器 文学賞	山口 要 小川正張
詩	呆れる、シャバ 明夷 東支那海という喫茶店	柿添 元 月岡祥郎 山口 要	荒木力詩特集 エッセイ	愚息の小山 古代の相聞往来4	小川正張 六百田幸夫
第50号 平成12年3月1日発行					
評論	良寛游擬6 野性のブルー5	織坂幸治 武田芳明	随筆	詩人の死 我が家のアメリカ	山口 要
詩	骸一むくろ 小川と銀杏 愚者の弁 落ち込む	山口 要 柿添 元 柿添 元 柿添 元	小説 エッセイ	滞在顛末記 骸一むくろ 蟬丸 古代の相聞往来5	杉山武子 卜部 啓 榊田 洋 六百田幸夫
第51号 平成12年9月1日発行					
評論	良寛游擬7 野性のブルー6 ハナシとしての古事記模様	織坂幸治 武田芳明 月岡祥郎	詩 紀行	対話 ベトナム北部400 キロの旅	荒木 力 杉山武子
詩	父と姉と僕 習坎 四月の植物園	柿添 元 月岡祥郎 荒木 力	小説 エッセイ	天使の黄昏 古代の相聞往来6	有森信二 六百田幸夫

第52号 平成13年3月1日発行					
評論	野性のブルー7	武田芳明	詩	小笹だより3編	荒木 力
	ハナシとしての古事記模様2	月岡祥郎	往復書簡	魂の響き合いを求めて	杉山武子
詩	霊	柿添 元	小説	穹天	有森信二
	八重桜春秋濫	月岡祥郎	エッセイ	古代の相関往来7	六百田幸夫
	小さな忘れ物(島で)	山口 要			
第53号 平成13年10月1日発行					
評論	ハナシとしての古事記模様3	月岡祥郎	小説	梓の女	山口 要
詩	八月の詩	山口 要		歯車	小原紀史
	悲しい犬	大智忠之		ベルシャ人の手紙	小原紀史
	百日紅	月岡祥郎		箱	杉山武子
随筆	作品発表の場	荒木 力	エッセイ	檀一雄さんのこと	六百田幸夫
第54号 平成14年4月1日発行					
評論	ハナシとしての古事記模様4	月岡祥郎	随筆	空からの風景	山口 要
詩	仄	月岡祥郎	小説	山田右衛門1	榊田 洋
	せんゆう	荒木 力		佐知子	田代 茂
	夜の祈り	荒木 力		あぶら買います	
随筆	中勘助「妹の死」 についての私記	山内正樹		懐旧幻想 白雨	山口 要 有森信二
第55号 平成14年10月1日発行					
評論	ハナシとしての古事記模様5	月岡祥郎	小説	コスモスダンス	有森信二
詩	八月一小笹	荒木 力		チェーサーそして	
	天よりの道と月よりの道	月岡祥郎		逃れゆく者	天坊三朗
	天泣	月岡祥郎		凌雲	由比和子
随筆	忠魂塔の下で	山口 要	エッセイ	樋口一葉 2題	杉山武子
小説	葡萄の樹	榊田 洋			
第56号 平成15年4月1日発行					
評論	ハナシとしての古事記模様6	月岡祥郎	詩	地匂艸	月岡祥郎
詩	Dear	笹原由理	小説	火影	有森信二
	ひとり	笹原由理		朧影	田代 茂
	迷路	笹原由理		丘の上の空	杜 優一
	孤独	笹原由理			
第57号 平成15年10月1日発行					
評論	野生のブルー9	武田芳明	詩	嫋	月岡祥郎
	漱石は見たか	杉山武子		月の音	月岡祥郎
	ハナシとしての古事記模様7	月岡祥郎		残暑 小笹だより	荒木 力
詩	父	織坂幸治	小説	前立腺異聞	山口 要
	零く	山口 要		夏の夜の遊目	由比和子
	ソウル我が魂よ	日高三郎		闇の中の手	天坊三朗
	自由への飛び込み台	日高三郎	エッセイ	座右にコーヒー	横手けいじ
	世紀を越ゆ	有森信二			

第58号 平成16年4月1日発行					
評論	ハナシとしての古事記模様8	月岡祥郎	小説	ままのたね	井美和子
詩	丘の緑の屏風	荒木 力		流離う	赤松健一
	傷 他3編	笹原由理		譚報懇話会 我羊なりや	天坊三朗
	さらば故郷 他2編	日高三郎	随筆	描くということ	由比和子
	舞台	織坂幸治		同人誌「海」合評会点描	牧草 泉
	黙梅	月岡祥郎		能古島 他1編	杉山武子
第59号 平成16年10月1日発行					
評論	ハナシとしての古事記模様9	月岡祥郎	小説	福寿草	由比和子
随筆	情報の外部へ	武田芳明		家族の肖像	井美和子
	遊ぶ言霊	上野ひろし		楼閣の少女	有森信二
詩	平野祭	荒木 力		追われる!	天坊三朗
	無言	織坂幸治	エッセイ	シャーウッドアンダー	
	実験0の1、0の2	日高三郎		ソンのいる風景	牧草 泉
第60号 平成17年4月1日発行					
評論	壮烈な花火1		詩	沈黙	織坂幸治
	矢山哲治と「こをろ」の時代	杉山武子		幻燈の時 他4編	笹原由理
60号記念特輯				オリオンとオレ 他1編	日高三郎
	有森信二、赤松健一、天坊三朗			つらら	荒木 力
	北里美和子、徳永恭子、武田芳明		随筆	空家と鴉	山口 要
	杉山武子、榎田洋、織坂幸治		小説	夾竹桃と青い空	有森信二
	由比和子、月岡祥郎			よくある話・中井夫婦の場合	天坊三朗
詩	彙	月岡祥郎	紀行	欧州の市民と自治・上	卜部 啓
第61号 平成17年10月1日発行					
寄稿	豊かな人生とは何か	松田佳子	詩	アガパンサスの花	織坂幸治
評論	壮烈な花火2	杉山武子	小説	アイランド	卜部 啓
	平面からヒダへ	武田芳明		寒椿	由比和子
詩	扉の季節 他3編	笹原由理		ネル菌	北里美和子
	大根	月岡祥郎	随筆	欧州の市民と自治・下	卜部 啓
	ブルーマーケット 他1編	日高三郎			
第62号 平成18年4月8日発行					
檀一雄特輯（没後30年追悼）			評論	福島次郎氏への手紙	杜 優一
	織坂幸治、北里美和子、長野秀樹		詩	紀元前の人	荒木 力
	杉山武子、赤松健一、六百田幸夫			素直・檻	笹原由理
	卜部啓、杜優一、月岡祥朗、由比和子			木の上を風が	月岡祥郎
評論	壮烈な花火3	杉山武子	小説	タイム・スクリーン	有森信二
	井川惺亮			監獄官の朝	赤松健一
	インスタレーションの世界	武田芳明			

第63号 平成18年10月1日発行					
檀一雄没後30年花逢忌					
			詩	その時の歌・冷泉公園	作礼而去
評論	あいさつ・檀さん、残影	織坂幸治	小説	悔いのない日々	山口 要
	壮烈な花火4	杉山武子		生きていく女1	牧草 泉
	舟木富治の線画の世界	武田芳明		リストにない	北里美和子
詩	天神広場にて・骨董	織坂幸治		アン・インストール	有森信二
	不安 他4編	笹原由理	随筆	赤い筆箱 他1編	由比和子
第64号 平成19年5月1日発行					
評論	壮烈な花火 最終回	杉山武子	随筆	開眼	山口 要
詩	念仏	織坂幸治	小説	山田右衛門作2	榊田 洋
	深夜	荒木 力		海風	牧草 泉
	あした 他5編	笹原由理		月兎慕情	由比和子
	水位 他2編	北里美和子	エッセイ	反対咬合	由比和子
第65号 平成19年12月20日発行					
小説	さざれ波	由比和子	小説	あかね色の空の下	天坊三朗
	夏の出来事	赤松健一		新世界	赤松健一
評論	…の表象としての私の		随筆	檀さん 花影	織坂幸治
	レントゲン写真	武田芳明		わが青春のマリアンヌ	山口 要
小説	月夜の蟹	北里美和子	小説	束草の雪	牧草 泉
詩	凜 他2編	笹原由理		青い光	有森信二
	執	月岡祥郎			
第66号 平成20年5月25日発行					
詩	六万年目の夜 他2編	笹原由理		試みの思考	
	酔	月岡祥郎		ボロボドールの旅より	武田芳明
	献体	織坂幸治	小説	ある都会の孤独―	
随筆	ふるさと 他1題	北里美和子		彼をめぐるひとつの閑話	天坊三郎
新ぼんくら談義				納屋の上	由比和子
	現代カタカナ考	織坂幸治		波の歌	有森信二
				ある恋愛の顛末	牧草 泉
第67号 平成20年12月1日発行					
随筆	街角で逢った里神楽	山口 要	詩	コスモスのうた 他3編	有森信二
新ぼんくら談義				俳句自由律	
	現代術なし考	織坂幸治		天女降臨	有森信二
随筆	赤いぐみ	由比和子	小説	我らの行方	赤松健一
詩	お迎え	織坂幸治		再会	牧草 泉
	六万年目の夜 他3編	笹原由理		紅雨	北里美和子
	歸界	月岡祥郎		曙光	有森信二

注記 作者名は、最新のものに統一したものがあります。
有森啓二、有森啓→有森信二へ